

令和2年度 経営人材育成研修

令和2年度 農泊推進対策（広域ネットワーク推進事業「経営人材育成研修」）事業

講義のご案内

【研修の概要】

※本年度の農泊経営人材育成研修のポイントは以下の通りです。

- ①基礎編（Aコース）とアドバンス編（Bコース）とに分け、全国13カ所で基礎編（Aコース）講座を行い、東京・大阪においてアドバンス編（Bコース）講座を行います。
- ②Aコース講座の中で、「コロナ対策」「マイクロツーリズム」の理解を促進する講座も行います。
- ③Aコースでは、今後の農泊経営に必要となる項目を幅広く講義します。各エリアで先進事例や注目すべき事例を持つ地域専任講師を依頼し、今後持続可能な農泊経営に資する内容を系統立って学んでいただきます。
- ④各エリアでの地域専任講師は、下記研修概要に即しつつ、その講師の持つ独自エピソードを混ぜながらより深い学びを得られるようにします。
- ⑤Aコース、Bコースとも、受講生はどのエリアの講座も受講でき、コース内複数の講座も受講できることとします。
- ⑥Aコース、Bコースとも、申込書・エントリーシートの提出を持って受講申込を行います。エントリーシートには、受講前アンケートを付し、期待度調査を行います。
- ⑦Aコース、Bコースとも、受講後アンケートにより満足度調査を行います。

【◎農泊地域人材育成研修（Aコース）】

【農泊地域人材育成研修の全体のねらい】

農泊の取組をビジネスとして捉えることを理解していただき、「強い農泊」を作るための基礎的かつ実践的な力を付けていただきます。

これから農泊に取り組みたいと思っている方、現在農泊を実践している方、農泊協議会の方、地域に農泊のあるDMO・DMCの方、行政の方…など、地域を牽引する農泊ビジネスにご関心のある方を対象に5科目からなる総合的な講座を行います。

また、「地域専任講師」として、エリアを代表する、あるいは注目の講師をスポットで招聘。トップリーダーとの関係づくりの場も提供いたします。

【①農泊の経営に関する研修】

【研修のねらい】

経営の枠組みを知り、「持続可能」な経営をしましょう。

そもそもビジネスとはなにか、というところから始め、現在の農泊の一般的な事業スキームが継続的な経営になるかどうか考えていただきます。

また事業における計数の考え方、持続可能な経営のポイントも学んでいただきます。

【研修講師】

(一社) 全国農協観光協会 白木 勝規 (地域専任講師は別表の通り)

時間	研修概要
10:00 ～ 11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光産業の構成について ・ 事業における算数 (計数的な考え方) ・ 事例紹介 ・ 資金調達方法 ・ 持続可能な経営チェックポイント <p>【タイムテーブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング (10分) ・ 本編 ・ ワークショップ (15分) ・ 質疑応答 (5分)

【② 体制整備に関する研修】

【研修のねらい】

中間組織 (協議会) を例にとり現状分析からビジョンの策定、人材の確保・育成に至るまで、幅広く農泊を支える体制整備の研修を行います。(中国会場・四国会場は「ワーケーション」特別講座を行います。)

【研修講師】

(一社) 全国農協観光協会 川畷 守 (地域専任講師は別表の通り)

時間	研修概要
12:30 ～ 14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状分析 ～農泊地域の現状と課題の分析～ ・ 目的は何か? ビジョンの策定 ・ いかに進むかの策定 ・ 人材の確保・育成について ・ コロナに負けない! 中間組織から見たコロナ対策 <p>【タイムテーブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング (10分)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本編 ・ ワークショップ (15分) ・ 質疑応答 (5分)
--	--

【③ 地域資源に関する研修】

<p>【研修のねらい】</p> <p>マーケットや顧客目線を意識した地域資源の活用をしていますか？</p> <p>地域コンテンツにおける一番の売りである、ツアーの造成を例にとり、顧客目線とは何か、マーケットとは何か、共に考えてみましょう。</p>	
<p>【研修講師】</p> <p>(一社) 全国農協観光協会 平川 萌々子 (地域専任講師は別表の通り)</p>	
時間	研修概要
14:10 ～ 15:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客さんは何を考えているか、考えたことがありますか？ ・ プロダクトアウトとマーケットイン ・ 私はこう作る！顧客目線から考えるツアー造成 ・ コロナに負けない！ツアーにおけるコロナ対策 ・ 顧客に愛される地域となるために。 <p>【タイムテーブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング (10分) ・ 本編 ・ ワークショップ (15分) ・ 質疑応答 (5分)

【④ インバウンド受け入れ研修】

<p>【研修のねらい】</p> <p>コロナ禍でインバウンドの受入ができない現在、将来のインバウンド需要に備えてインバウンドマーケティングを行うことが求められます。</p> <p>戦略的なインバウンド向けマーケティングについて、その重要性や視点、スキルを観光産業の特徴や様々な事例を通して学びます。</p>	
<p>【研修講師】</p> <p>(一社) 全国農協観光協会 川畠 守 (地域専任講師は別表の通り)</p>	
時間	研修概要

15:50 ~ 17:20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「観光」を「売る」とは？ ・ 「観光」を「売る力」が重要な理由 ・ どこで差別化しますか？ ・ 勝ち続ける地域となるために… <p>【タイムテーブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング（10分） ・ 本編 ・ ワークショップ（15分） ・ 質疑応答（5分）
---------------------	---

【⑤情報発信に関する研修】

<p>【研修のねらい】</p> <p>様々な情報発信がある中、顧客に届く情報発信はどういったものでしょうか。情報発信の種類を考えながら、具体的な方法をお伝えします。</p> <p>① 空中戦（WEB・SNSの活用など）</p> <p>② 地上戦（営業・イベント出展など）</p> <p>また、コロナ禍で注目されている「マイクロツーリズム」についてもお伝えいたします。</p>	
<p>【研修講師】</p> <p>（一社）全国農協観光協会 川畷 守 （地域専任講師は別表の通り）</p>	
時間	研修概要
17:30 ~ 19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信の様々な方法 ・ デジタルマーケティングとは？ ・ イベント出展だけではダメ？確実に顧客をつかむために ・ マイクロツーリズムについて <p>【タイムテーブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング（10分） ・ 本編 ・ ワークショップ（15分） ・ 質疑応答（5分）

【◎農泊地域人材育成研修（Bコース）】

【第1日目 事業計画書づくりから学ぶ経営の実務】

【研修のねらい】

これから農泊ビジネスを行いたい、あるいは拡大していきたいとお考えの方々を対象に、Bコースではアドバンストとしてファイナンスとマーケティングに特化して学びます。事業計画書を作成するために必要な主要 KPI の立案、それに基づく事業計画（売上、営業費用、営業利益、経常利益等）策定に関する考え方について学びます。事業計画を策定する際に必要となる「ターゲット・セグメントの設定」「資金調達のポイント」を中心に学ぶことで、交付金使用後の持続的経営に対する意識を高めます。

【研修講師】

株式会社 地域経済活性化支援機構 地域活性化支援部ディレクター 西村 寛子

時間	研修概要
10:00 ～ 17:30	<ul style="list-style-type: none">・ 金融機関等に対する事業計画に必要な要素・ 事業計画立案、事業実施を進めるにあたっての失敗とは・ ケーススタディー・ 具体的に客室・客席計画と経営主体の数字を入れるワークショップ

【第2日目 営業企画書作りから学ぶ売り方の実際】

【研修のねらい】

これから農泊ビジネスを行いたい、あるいは拡大していきたいとお考えの方々を対象に、Bコースではアドバンストとしてファイナンスとマーケティングに特化して学びます。経営の事業計画の組立を学び、季節ごとの顧客設定と体験の造成をワークショップで行っていただきます。その過程で、マーケティングの基礎となる「顧客は誰か」「顧客の悩みは何か」「顧客の悩みをどのように解決するか」という視点を体験していただくほか、徹底的な顧客目線を体感していただき、「感動を与える」「ターゲットにした顧客だけの」サービスをイメージしていただくことで実践的能力を養います。

【研修講師】

バリューマネジメント株式会社 店舗統括部マネージャー 丸岡 直樹

時間	研修概要
10:00 ～ 17:30	<ul style="list-style-type: none">・ 観光産業にとって商品造成とは・ 事業を成功に導くための営業活動・ 事業を進めるにあたっての失敗事例・ 四季それぞれの顧客を考え、営業企画書を作成するワークショップ・ プレゼンテーション（講師からのフィードバック）

地域専任講師のプロフィール

- 木村 宏 北海道大学大学院国際広報メディア観光学院 教授
観光地域経営論を担当。前信州いいやま観光局事務局次長兼飯山駅観光交流センター長。飯山市のGT中核施設「なべくら高原・森の家」を開設、支配人を経て、前職。現在は北海道大学大学院にて、観光地域経営論を講ずる。平成29年度農林水産省農山漁村振興交付金「農泊シンポジウムの開催」基調講演講師
- 石垣一子 陽気な母さんの店株式会社代表取締役社長 女性のみで体験交流型直売所を創設。令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業「東北版サミット」委員
- 菊池新一 認定NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク会長 令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業「東北版サミット」委員
岩手県遠野市地域改革担当部長、(社)遠野ふるさと公社事務局長を経て、現職。著書「遠野まちづくり実践塾」
- 田口聡美 仙北市役所観光商工部観光課 農山村デザイン室室長補佐 仙北の農泊地域のとりまとめ、インバウンドプロモーション、市場開拓に尽力。
- 熊田芳江 (一般社団法人)日本農福連携協議会 理事 前社会福祉法人こころん常務理事 令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業「東北版サミット」委員。社会福祉法人こころんを立ち上げ、農福連携の先駆けとなる取り組みに従事。
- 藤井大介 株式会社ファーム・アンド・ファーム・カンパニー代表取締役社長 令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業「農泊マニュアル」検討委員。川崎重工業、本田技研を経て中小企業診断士。ファーム・アンド・ファーム・カンパニー設立。代表取締役社長。
- 村橋克則 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 前せとうちDMO事業部長 令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業
「東北版サミット」座長。株式会社リクナビにて「じゃらん」を立ち上げ、その後、せとうちDMO設立準備室長としてせとうちDMO設立に関わる。

工忠照幸・衣里子 旅行会社 MATA TABI 代表 約7年間世界をバックパッカーとして2周し、帰国後は、ホテルマンや海外添乗員を経験。37歳の時、大阪から京都府綾部市の上林地区へ移住。現在、旅行会社 MATA TABI として夫婦でツアー運営、ゲストハウス経営、通訳案内士

吉田基晴 株式会社あわえ代表取締役社長 サイファーテック株式会社代表取締役社長 徳島南部地域DMO副代表理事. 新たなワークスタイルの実現と採用力の強化を目的に、2012年徳島県美波町にサテライトオフィス「美波Lab」を開設。2016年より美波町参与。著書「本社は田舎に限る」講談社

隅田徹 株式会社プラットイーズ会長 株式会社えんがわ社長 前神山神領代表取締役社長 一般社団法人ノオト理事株式会社プラットイーズ社長の2013年に人口5千人の神山町にサテライトオフィスと子会社えんがわを設立、自身も移住。2015年に宿泊施設「WEEK 神山」を開業。

本田節 一般社団法人 食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷 代表理事 令和元年度農林水産省農山漁村振興交付金事業「東北版サミット」基調講演講師。1989年「ひまわりグループ」を結成。93年「第3回九州女性サミット」の実行委員長を務め1995～2002年人吉市議会議員を2期務める。1998年農村レストラン「ひまわり亭」オープン。のち、一般社団法人 食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷を立ち上げ、代表理事